

新登山口～黒滝山～百村山～光徳寺

M・T

期 日：4月29日・2日目（水） 晴れ

コース：新登山口6：59～百村山からの合流点7：33→三石岳8：16→サル山9：09→山藤山9：59→河下山10：53→黒滝山11：30 →山藤山12：35→那須見台12：45→サル山12：58→三石山13：24→百村山13：47→百村山登山口15：22→光徳寺15：28

参加者：M・T

報 告：



ぐらぐらする鉄梯子を登って登山開始。いきなりの急登り。焦らずゆっくり。

木の俣林道の奥から地図には乗っていない新ルートで登山開始。金属の梯子がかけて有り側には黒滝山登山口の看板。



30分程で百村山からの登山道と合流する。復路は百村山経由で下山する予定なので赤布を下山方向の枝にぶら下げる。一見穏やかに見えるダケカンバの道。両サイドにはカタクリの花が見ごろを迎えている。





1時間16分で三石山着。いくつかの山名版が有るピークを過ぎるがピーク到着後にコンパスを合わせ直す。何時道が不明瞭になってもいいように進行方向は確実にしておきたい。次のピークのサル山までは一度来ている。前日も有ったが今回もテントが一張り。



大佐飛山を目指す人がテント泊する。



那須連山が良く見える那須見台。

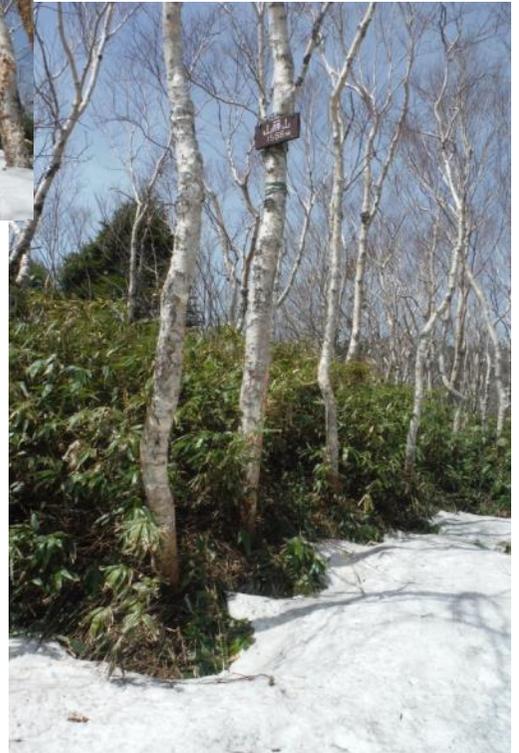
那須連山





雪で登山道が解からない。
只管、コンパス頼りにあつちへ。山藤山到着。山名版は樺の木の上の方についていた。

大佐飛山は藪が深く積雪期にしか登る事が困難な山で有る事がこれから先随所に見られた。トラロープ2本遙か上に張ってある。



あっちこちに虎ロープ。それもどうやって張ったかと思うほど頭上高く張ってある。雪面がそんなに高くなるのか？





雪と青空とダケカンバの木。気持ち良い。

気分よく雪の上を進むが時々不安になるのでイガさんから頂いた赤布を樺の木の目の高さに結わえておく。



私の行く先は何処？



迂闊に雪の上を歩き過ぎた。行く手に雪は消え笹に阻まれ先に進めない。谷側に下るのは不味いので右手の藪に突入する決心をする。いくぞ！

僅か2メートルぐらいの藪を脱出するとそこには夏道があった。注意散漫。雪上歩行を楽しみ過ぎた。反省。



藪漕ぎから15分程で目的地黒滝山到着。あのまま雪が有って笹に行く手を阻まれなかったら黒滝山脇を通過してもっと先まで行くところだった。11:30分丁度昼食に良い時間一人占めの山頂でおにぎりを頬張る。今日はまだ誰にも会わない。不安ながら楽し

んで歩いて来た半日を考えると人の声。抜けられない・・・足が・・・藪にがんじがらめにされている様な女性の声。それにこたえる男性の声。思わず立ち上がり「山頂はすぐですよ」と叫ぶが姿は見えない。はいと答える女性の声。今日はじめてこの山で聞いた人の声。しばらくして二人は山頂に現れた。現れた二人に山頂を譲り下山開始。時間はたっぷりあるので少し大佐飛山へのルートに進んでみる。この先はもっと藪が酷く雪が無ければ歩けないそうだ。丁度、大佐

飛山方面から戻ってくる二人連れに有った。様子を聞いてみると黒滝山から往復3時間30分位。一人はテントの主。一人は朝3:50分に新登山口を出て日帰りとの事。出立が私より3時間以上早い。いくら早く出ても私には体力的に無理だと思うが、来年早や立ちしてみるか?と不遜な考え。

3人連れになって下山。若い人はテント撤収の為サル山で別れる。百村山の分岐点で日帰りの方と別れ百村山を目指す。もちろん赤布回収。去年はこちらのルートから登ったが覚えていない。



下っていくと鉄塔巡視路が3方向に有る。はてさてどのみちを取るか?地図を出して17号鉄塔が近そうなのでそちらに進む。実は18号鉄塔の方に数分下りたが余りの朽ち果てた急階段に恐れをな

して登り返したのだ。歩く前に地図を見るべし。

落葉松の芽吹きを楽しみながら無事下山。

